

令和3年度日本型教育の海外展開(EDU-Port ニッポン)
応援プロジェクト 申請書

申請者	機関名	
	代表者役職名・氏名(ふりがな)	
	郵便番号	
	所在地	〒
連絡担当窓口	氏名(ふりがな)	
	所属部署・役職名	
	郵便番号	
	所在地	
	電話番号/FAX 番号	
	E-mail	

1. 申請カテゴリ

(学校段階) 該当する一項目に☑

- 幼児教育
 初等中等教育
 高等教育・職業教育
 社会教育
 教師教育
 その他(自由記入)

(テーマ) 該当する一項目に☑

- 理数教育・工学教育
 外国語教育
 国際理解教育
 体育教育
 音楽教育
 学校保健
 ICT 活用
 キャリア教育
 ESD
 その他(自由記入)

2. 事業名称、事業目的及び概要等

事業名称(30字以内)	
事業の目的(50字程度)	学校の臨時休校によるA国B校の〇〇〇とその改善方法を明らかにする。
事業概要(150字程度)	
対象国・地域	
事業実施期間	

3. 公募要領上で求められている要件への対応について

No.	必須要件	必須記載(150字以内)
1	本事業を通じて、相手国・地域のどのようなニーズに応えますか。	A国では、2020年〇月以降、学校が臨時休校され、児童生徒はテレビ授業やオンライン教育等の遠隔教育を受けている。これに伴い、行政/学校現場/児童生徒は、〇〇や〇〇という状態になり、〇〇や〇〇などの課題を抱えている。さらには〇〇などの対応も必要となっている。
2	本事業で提供する教育のどのような点が日本型だと考えていますか。	日本の〇〇では、従前より/コロナ後から〇〇の対応をしており、課題に対処できている/当初は〇〇であったが、〇〇〇と改善された。また、〇〇〇〇〇〇。
3	資金面について、自立的に実施は可能ですか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい / <input type="checkbox"/> いいえ 資金源: <input checked="" type="checkbox"/> 自己資金 <input type="checkbox"/> 助成金()
4	相手国カウンターパートからは協力は確保できていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい / <input type="checkbox"/> いいえ 相手国カウンターパート:A国B学校

5	本事業は SDGs や ESD にどのように貢献しますか。	本調査を通じて、A 国の〇〇について〇〇〇〇を実施することは、現地の〇〇〇や〇〇、〇〇などに資することであり、ひいては SDGs 目標〇の「〇〇〇」の実現に貢献するものであると考える。
---	-------------------------------	--

No.	加点項目	任意記載
1	国立大学法人、公立大学法人、学校法人、地方公共団体、地方教育委員会や独立行政法人をパートナーに含め、これらの機関の国際化・質的向上に資する事業ですか。	<p>パートナー機関： 〇〇法人〇〇学校、〇〇法人〇〇支局</p> <p>どのように国際化・質的向上に資する計画ですか(150 字以内)： 本事業では、〇〇学校の〇〇教員が現地〇〇研修での講師として参画する予定である。また、両国の教員同士のワークショップも予定している。〇〇支局は〇〇〇の参画を予定している。以上から、本事業は、上記パートナー機関の参加者の〇〇語の力、コミュニケーションスキルなどの向上に資するとともに、〇〇といった国内指導資料などの改善などにもつながる予定であり、こうした点で関係機関の国際化など質的向上にも資する予定である。</p>

4. 事業内容・スケジュール

いつ、どのような活動を実施し、どのようなアウトプットが期待されるか、簡潔に説明してください(活動を 3 つ程度にまとめて記載)。

	活動内容	期待されるアウトプット
活動 ①	<p>日本、A 国の〇〇について比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地で使用されている〇〇に関連する〇〇を、コロナ発生後の視点で、日本と比較分析し記載内容の課題を明確にする。 〇〇について説明資料を作成し、勉強会を開催する。 B 校にて… 	<ul style="list-style-type: none"> A 国の〇〇の現状、課題が明らかになる。 参加予定者〇名において、対処すべき課題や方策に対する共通理解が得られる。
活動 ②	…	…
活動 ③	…	…
活動 ④	<p>本校、B 校の取組を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組を論文にまとめる。 〇〇学会の学会誌に投稿する。 全国大会で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇学会の学会誌に論文が掲載される。 〇〇学会の全国大会で発表する。

スケジュール

	令和 3 年度 (2021 年 11 月～2022 年 3 月)		令和 4 年度 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)			
	11～12 月	1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
活動①	←→					
活動②	←→					
活動③			◆授業	←→	◆授業	
活動④					←→	◆学会

凡例: ◆ = 研修など数日の活動

←→ = 教材作成など長期にわたる活動

5. 事業の規模

本事業への参加人数	目標値	
	令和 3 年度	令和 4 年度
日本側の教員、職員、指導者および学生・生徒・児童・園児の数(人)		
相手国側の教員、職員、指導者および学生・生徒・児童・園児の数(人)		

6. 事業の実施体制

連携する他の機関とどのような役割・責任分担で実施するのか、簡潔に説明してください(150 字以内)。

全体の企画、実施管理については、申請主体である〇〇が行う。〇〇法人〇〇学校は、活動②に記載の〇〇に〇〇の専門家〇名を派遣する。また、活動③に記載の〇〇研修の内容等についても〇〇法人〇〇学校が主担当で作成する。	
〇〇法人〇〇支局は A 国 C 大学との関係が構築されているため、活動④の C 大学との取組について中核役として計画を進める。	
日本側連携機関	〇〇法人〇〇学校 〇〇法人〇〇支局
相手国側連携機関	A 国 B 校 A 国 C 大学

7. 過去の実績

本事業の実施に資する実績について簡潔に説明してください。

実績の概要(100 字以内)	本事業にどう活かしますか(100 字以内)

8. その他(任意記載)

1.～7. で記載しきれなかった事項がある場合は、記載してください(200 字以内)

--